

教育大綱改定へ検討委

池田町 現場の相談役設置も

池田町は10日、本年度の第2回総合教育会議を開き、教育大綱の改定へ5月に検討委員会を設置することや、新年度から学校現場の相談役などを務める教育企画官(仮称)を設けることを決めた。

昨年3月に池田中2年生の男子生徒(当時14)が自殺した問題を踏まえた対応。

町能楽の里文化交流会館で非公開で開かれ、杉本博文町長と内藤徳博町教育長、教育委員の計6人が、12月の前回

会議で配布された「町学校教育環境向上化プラン」の町長案を基に議論し、プランを確定した。

会議後取材に応じた杉本町長によると、教育大綱改定の検討委員は15人程度で、町長と町教委が有識者や町民から選ぶ。パブリックコメントで募った町民意見などを踏まえ、来年3月の総合教育会議で最終協議し新大綱を決める方針。

10項目ある向上化プランで



教育大綱の見直しなどについて話した池田町総合教育会議＝10日、町能楽の里文化交流会館

は▽学校現場の相談役や社会とのつなぎ役を務める教育企画官(非常勤)を4月に設置

▽子育て教育向上委員会「まゝるいテーブル会議」を6月に設置―など目標を設定した。保護者や生徒、教員を対象に定期的にアンケートを実施、住民が部活動を支援する「ローカルティチャー」を養成することも決めた。一部は3月の町定例会で提出する新年度予算案に盛り込む。

杉本町長は「将来を担う子どもたちの教育を預かる大人の責任は大。二度と繰り返さないという思いで、学校や保護者と連携していきたい」と話した。第3回会議を3月に開き、予算内容などを教育委員に報告する。(中坪佑香)